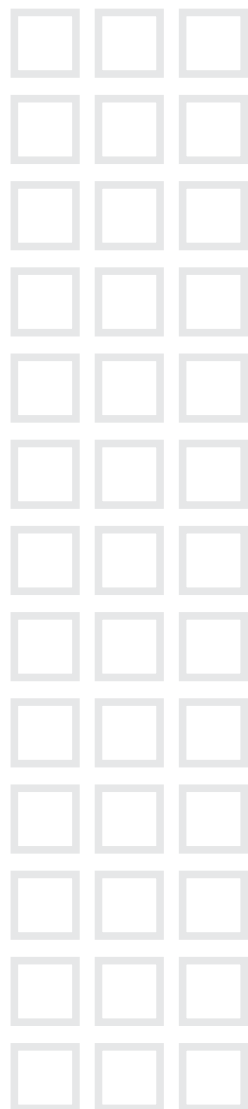


第 2 章

合併の経緯



1 合併の必要性

少子・高齢化、生活圏の広域化、地方分権の進展、財政状況の悪化など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化している。

一宮市、尾西市及び木曾川町の2市1町でも、こうした少子・高齢化などの環境変化に加え、事業所数の約4割、従業員数の約3割を占める繊維産業の低迷、中心市街地を中心とした空き店舗の増加などに伴う商業機能の低下など、地域経済活力の向上が重要な課題となっていた。

一方、当地域は、生活、産業経済など様々な面で強い結びつきを持っており、住民相互の交流も活発である。また、下水道、ごみ処理等様々な行政分野において共同処理を行うなど、行政レベルでの結びつきも強い地域である。

こうした状況を背景に、2市1町の合併により効率的な行政運営を進めるとともに、足腰の強い行財政基盤を確立し、新しいまちづくりを進め、地域活力の向上を図っていくことが必要であった。

①少子・高齢化への対応

少子・高齢化の流れは、2市1町でも例外ではなく、平成12年10月1日現在、65歳以上の割合は14.7%と、名古屋市を除く県内都市の平均と比較して高く、今後も22年には21.8%、27年には25.4%と予想している。

こうした状況を踏まえ、保健・医療・福祉分野での行政サービスの向上や、まちづくりの面でも住宅、交通基盤の充実など様々な世代にとって住み良い環境整備を進めるため、行政能力の質的な向上とともに、専門化・高度化など自治体としての総合力の強化が必要であった。

②日常生活圏の拡大に伴う住民ニーズへの対応

2市1町は従来から一宮市中心部を核に放射状に道路、鉄道が整備され、通勤・通学・買い物など、日常生活圏は実質的に一体化している。

住民の生活圏の広域化に対応するとともに、より利便性を高めていくため、広域的・総合的なまちづくりが必要であった。

保育所広域入所、図書館の相互利用など様々な行政分野で広域連携が図られていたが、合併を機に、今後ますます、こうした取り組みを強めていく必要があった。

③地方分権に対応する自治能力の向上

地方分権が進む中、住民に最も身近な市町村が主体となって、きめ細やかな行政サービスの提供や個性豊かなまちづくりを行うことが必要であるとともに、より専門的

な知識や技術を持った職員も必要となる。

一宮市は、平成14年4月から特例市に移行しているが、2市1町が合併することにより、人口30万人超、面積100km²超となり、中核市の要件を満たすことになる。合併を機に行政改革を強力に進め、行財政基盤を強化し、合併後、一定期間後に中核市移行を図り、市民生活に関係の深い福祉、保健衛生、都市計画、環境保全などの幅広い分野の権限を強化して、これまで以上にきめ細かな施策展開を目指す。

④行財政基盤の悪化への対応

国、地方ともに極めて厳しい財政状況にある中で、2市1町においても、少子・高齢化、産業活力の低下などを背景に、今後ますます厳しい財政運営を強いられることが予想される。

行政サービスを高度化し、安定的に提供していくためには、合併を契機に行政の効率化を一層進めていくとともに、財政基盤を強固なものとしていく必要があった。

2 合併に至る経緯

一宮市、尾西市及び木曾川町は、稲沢市、祖父江町及び平和町とともに構成する尾張西部広域行政圏協議会において、平成14年6月より3市3町の事務事業257項目についての比較や手数料の調査を行うなど合併に関する研究にとりかかった。そうしたなかで、同年11月、一宮市、尾西市、木曾川町の3市町での合併について、任意の合併協議会を設置し、市町村の合併の特例に関する法律（以下「合併特例法」という。）の適用期限（平成17年3月末）までの合併に向けての協議を進めていくことが、3市町長の間で合意されたことが発表された。

こうして任意の合併協議会の設置に向けて、協議会の規約、予算、委員構成、事業計画等について事務レベルでの協議が進められ、2市1町のそれぞれの12月定例会で一宮市・尾西市・木曾川町合併検討協議会（以下「任意協議会」という。）に関する予算案が提案・議決され、平成15年1月に任意協議会が設置されることとなった。

平成15年度に入り、4月の統一地方選により尾西市長及び一部の議会選出委員の交代があったものの、それまでの合併協議の方向性に揺るぎはなく、「平成17年3月を合併期日の目標とすること」「合併の方式は法定協議会で決定していくが、対等の精神で議論していくこと」「新市建設計画については、法定協議会で協議していくこと」などが合意され、6月定例会後の法定協議会設置を正式に確認した。

任意協議会の決定をうけ、2市1町6月定例会に法定協議会設置議案及び関連予算案が提案され、6月16日から7月1日までの間にそれぞれの議会で賛成多数で可決

された。7月1日の一宮市議会閉会后、3市町長が法定協議会設置に関する協議書、規約に関する協議書等を取り交わし、翌7月2日に一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会が発足した。

合併協議会においては、5つの分野に分けて協議を行っていく小委員会方式を採り、平成15年8月8日の第1回協議会以降、翌年7月27日開催の協議会まで計10回、5つの小委員会では延べ40回、終始一貫「対等の精神」のもと鋭意2市1町の制度調整、新市建設計画策定等の協議を重ねた。

この間、合併協議会だよりの発行、ホームページの運用など、住民へ協議内容を広報し、また、2市1町3か所で開催した合併シンポジウム、計26回にわたる住民説明会や2市1町10,000人の住民を対象としたアンケート等を実施し、合併に向けた機運の醸成と議論の喚起に取り組んだ。

なお、尾西市では平成16年2月29日に、木曾川町では7月25日に、合併の是非を問う住民投票が実施され、両市町とも合併賛成の結果となり、ほぼ当初スケジュールどおり協議は順調に推移し、24項目すべての合併協定項目の協議が調ったため、同年8月9日、合併協定書への調印に至った。

翌月の2市1町の定例会において「一宮市、尾西市及び葉栗郡木曾川町の廃置分合」、「財産処分に関する協議」、「地域審議会の設置等に関する協議」、「議会の議員の在任に関する協議」、「農業委員会の委員の任期等に関する協議」の5議案が提案され、9月24日全ての議案が可決された。

これによって、同日、その協議書内容の告示を行い、同年10月13日には愛知県知事あてに「廃置分合」の申請をし、同年12月1日、愛知県議会12月定例会に提案され、12月20日原案のとおり可決された。これを受けて12月21日付けで2市1町の廃置分合について愛知県知事の処分決定、同月24日付けで愛知県知事から総務大臣へ届出が行われた。

その後、平成17年1月20日には、総務省告示第74号で2市1町の廃置分合についての告示が行われ、平成17年4月1日、新「一宮市」が誕生した。

【合併までの経緯】

期 日	内 容
1月14日	一宮市・尾西市・木曾川町合併検討協議会(任意)を設置 第1回一宮市・尾西市・木曾川町合併検討協議会
1月29日	第2回合併検討協議会
2月19日	県の合併重点支援地域に指定
2月20日	第3回合併検討協議会
4月 7日	第4回合併検討協議会
5月28日	第5回合併検討協議会
6月16日 ～7月1日	一宮市・尾西市・木曾川町各議会において、一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会 設置議案を可決
7月 2日	一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会(法定)を設置
8月 8日	第1回一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会 【主な内容】 ・協議会関係規程について承認 ・平成15年度事業計画・予算について承認 ・合併協定項目(25区分・53項目)を5つの小委員会(新市建設計画作成等、 総務文教、厚生、経済環境、建設)へ付託
8月22日	第1回新市建設計画作成等小委員会(以降、平成16年7月20日まで12回開催)
9月18日	第1回経済環境小委員会(以降、平成16年2月16日まで6回開催) 第1回建設小委員会(以降、平成16年3月31日まで7回開催)
9月19日	第1回厚生小委員会(以降、平成16年1月22日まで6回開催)
9月24日	第1回総務文教小委員会(以降、平成16年5月19日まで9回開催)
9月30日	第2回合併協議会 【主な内容】 ・新市名称の公募について承認
10月15日 ～11月11日	新市名称の募集(2市1町の住民対象) 応募総数2,624件、298種類
11月 1日 11月29日 12月14日	合併シンポジウム テーマ:「地域の未来と市町村合併」 ・木曾川会場:木曾川町中央公民館講堂 参加者:120人 ・一宮会場:一宮地場産業ファッションデザインセンター展示ホール 参加者:270人 ・尾西会場:尾西文化会館講堂 参加者:270人
11月13日	第3回合併協議会 【主な内容】 ・「合併の方式」など10項目について承認 ・住民説明会の開催について確認
12月25日	第4回合併協議会 【主な内容】 ・「新市の名称」など30項目について承認 ・住民説明会開催日程、住民意識調査の実施について確認
平成 16 年 1月17日 ～2月15日	住民説明会 一宮市・尾西市・木曾川町内26会場 参加者:延べ1,972人

平成 16 年	1月28日	第5回合併協議会 【主な内容】 ・「条例・規則等の取扱い」など5項目について承認
	2月3日 ～2月26日	住民意識調査 2市1町の18歳以上の住民10,000人を対象 回収率：62.7%
	2月29日	尾西市住民投票 投票率51.13% 合併に賛成17,167（71.67%）、合併に反対6,787（28.33%）
	3月3日	第6回合併協議会 【主な内容】 ・「電算システム事業」など3項目について承認 ・平成15年度補正予算、平成16年度事業計画・予算について承認
	4月2日	第7回合併協議会 【主な内容】 ・「一般職の職員の身分の取扱い」など3項目について承認 ・住民意識調査の結果について報告
	5月11日	第8回合併協議会 【主な内容】 ・「広報広聴関係事業(その2)」など2項目について承認
	7月2日	第9回合併協議会 【主な内容】 ・「特別職の身分の取扱い」など3項目について承認 ・平成15年度事業報告・決算について承認
	7月25日	木曾川町住民投票 投票率62.04% 合併に賛成8,040（51.33%）、合併に反対7,622（48.67%）
	7月27日	第10回合併協議会 【主な内容】 ・「合併の期日」、「新市建設計画」について承認 ・合併協定書を承認
	8月9日	合併協定調印式
	9月24日	一宮市、尾西市、木曾川町各議会において、合併関連議案を可決
	10月13日	愛知県知事へ合併申請書を提出
	12月20日	愛知県議会で2市1町の合併について議決
	12月21日	愛知県知事が2市1町の合併について決定
12月27日	第11回合併協議会 【主な内容】 ・平成16年度合併協議会補正予算について承認 ・「合併に向けた準備状況」など2項目について報告	
平成 17 年	1月20日	総務大臣が2市1町の合併について告示
	3月3日	第12回合併協議会 【主な内容】 ・「合併に向けての準備状況」など3項目について報告 ・会長、副会長のお礼・あいさつ
	4月1日	新「一宮市」誕生

